

大勇門

豊田市立前林中学校



令和 8年10月2日 No.18

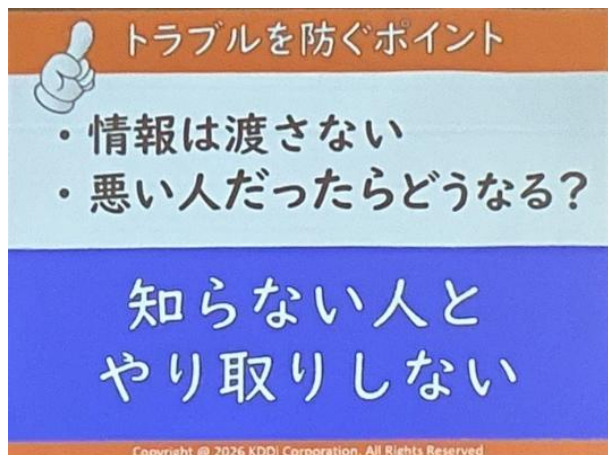
＜学校だより＞文責：大村 齋人

TEL : (0565) 52-1353

E-mail : c-maebayashi@toyota.ed.jp

父母教師会主催 スマホ・ケータイ安全教室

9月30日の授業参観には多数の保護者のみな様に御来校いただき、ありがとうございました。また、3・4時間目には父母教師会育成委員会主催のスマホ・ケータイ安全教室にも40の方に御参加いただきました。具体的な場面を想定したアニメをもとに、スマホやインターネットの危険性を学ぶことができ、中学生にとって大変有意義な時間となりました。御尽力いただいた父母教師会の担当の方々、ありがとうございました。



【講演から】

1人の投稿者に500人のフォロワーがいるとします。そうすると、その500人の人たちがその投稿を見ることになります。

そのフォロワー500人の一人一人にまた500人ずつフォロワーがいた場合、何かを投稿したら、それがどんどん広がって、あっという間に1億2500万人に達します。今の日本の人口より多いくらいです。拡散し続けます。そして、何度も言いますが、一度ネットにあげたものは絶対に回収できません。

「友達しか見ないから大丈夫だろう」というのであれば、友達に直接見せるほうがマシです。ネットに載せて誰かに見せると、他人にまで絶対に広まると思ってください。

今回の動画では『ケイくん』や『亜希子さん』が身に着けていた洋服や鞆が紹介されていました。学校名や名前、部活など、何でも特定されています。皆さん、『特定班』という名前を聞いたことはありませんか？何かあったときに、「これ、どこそこの誰です」という情報が、だいたい一晩で全部ネット上に出てきます。その人たちはフォロワー限定ではなく、もうそこら中の人に教えたくてたまらないので、拡散されています。全世界の人たちが、「これをやったのはどこそこの誰さんですよ」と言うふうにわかってしまうということになります。

実は、顔がはっきり写っていないなくても、最近は『生成AI』の技術がありますよね。生成AIでモザイクを消したり、何かを加工したりすることがいくらかでも可能になっています。これぐらいなら大丈夫とか、少し映っていないから大丈夫だよというのは、そうではありません。とても怖いことです。

【中学生の振り返りから】

- ・ネットは匿名だし誰かわからないから強気な言葉を使う人がいるけど、誹謗中傷に繋がると自分が加害者にも被害者にもなるから、コメントをしたりしない。自分たちが面白いと思っていても、客観的に見ると全く面白くないし、やっていいことと悪いことの区別をつける。ネットで出会った人とは絶対に話さない、近寄らせないことが大事だと思います。
- ・SNSは何があるかわからないし、いつどんなトラブルに巻き込まれるかもわからないので、慎重に、相手が傷つかないか自分に何か起こらないかをしっかりと使う前に考えて、依存しないためにも利用時間やルールなどを守り、有効に使用できるようにしたいです。
- ・最後に父母教師会会長がいったように、今の中学校生活を楽しむためにインターネットに振り回されないようにしようと思いました。